

「IKUNO未来教育ネットワーク」

～産官学+地域の連携で育てる生野っ子～

大阪市生野区役所



1. 生野区のめざす新しい教育環境



【生野区の課題】

- ◎ 全国学力学習状況調査の結果が全国平均を下回る学校が多く、校内で二極化。
- ◎ 中学入学時点で基礎学力が定着しておらず、学びから降りていく生徒が多い。
- ◎ 親世代も貧困や課題を抱える層が他都市より多く、虐待・不登校も多い。
- ◎ 小規模校が多いため、多様な価値観に触れる機会が子どもも教職員も少ない。

子育て世代の流出

貧困の連鎖

解決策① 産官学+地域も連携した「チーム学校」を実現し、魅力的な大人や職業に出会う機会を作る

解決策② 「生野区西部地域学校再編整備計画」により適正規模の学校に再編し、小中一貫教育を導入する

解決策③ 学校跡地を活用した「まちぐるみ教育・みんなの学校」を実現し、学校教育にも連動させる



モデル校として「IKUNO未来科」のカリキュラムを生野義務教育学校に導入

2. 「IKUNO未来教育プロジェクト」の3ステップ

令和2年度～

Step 1 産官学+地域連携の教育ネットワークを「生野区全体」で作る

令和3年度～

Step 2 生野区のコアカリキュラムとなる「IKUNO未来科」を
産官学+地域連携で新校の校長・教職員と共に作っていく

令和4年度～

Step 3 学校跡地に入る事業者も含めて「IKUNO未来科」の充実
と課外・長期休業・卒業後の「まちぐるみ教育」を実現

【これまでの取り組み】

H29年8月：学校再編に伴う新たな教育内容として「生野の教育」を提示
キーワード「**自立（自律）学習**」「**キャリア教育**」「**チーム学校**」

H30年4月～：性・生教育を推進する「**生きるチカラまなびサポート事業**」開始

令和2年1月：区内小中学校の教員と「生きるチカラ学びサポート事業」
アドバイザーによるワークショップを開催

並行して学校再編と新校開校に向けた校長・教職員の話し合いや企業との
意見交換を、令和4年開校予定の3校の小中一貫校開校に向けて継続

Step 1 -①「IKUNO未来教育ネットワーク」の設立

現在の「生きるチカラまなびサポート事業」の講師登録企業や次世代育成に関心のある企業・団体に呼びかけ、生野の子どもたちの育成に関わる産官学・地域ネットワークを設立し、令和2年度中に「IKUNO未来教育フォーラム」を開催する。

産

区内外の企業・民間団体による
学校支援メニューや講座の提供
「IKUNO未来科」策定に参画

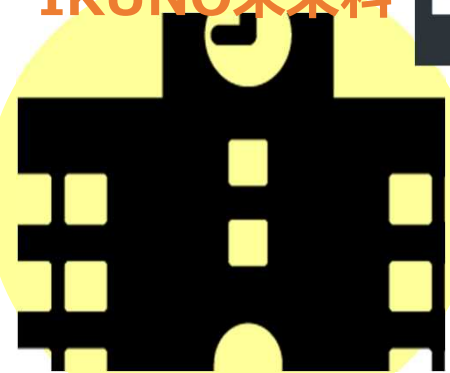
官

区役所：区内小中学校のニーズに
応じて支援メニューや講座を提供
市教委：「IKUNO未来科」カリ
キュラム策定を支援

学

大学との連携
「IKUNO未来科」策定に参画
その他区内高校等との連携

IKUNO未来科



大阪市立義務教育学校
生野未来学園

区内小中学校



地域

地域活動や「IKUNO未来科」を
通じた学び・体験の場の提供
防災教育やまちづくりへの参画

Step1-②「IKUNO未来教育フォーラム」の開催（令和2年度内）

「IKUNO未来教育ネットワーク」に参画する企業・団体や大学の研究者、生野区の「生きるチカラまなびサポート事業」のアドバイザーを中心に「次世代の学び」について意見交換をし、まちの教育目標を共有する機会にする

〔参考〕令和2年1月27日開催
区内小中学校教職員とアドバイザーによる勉強会



生野区内小・中学校の教職員のみなさま

「生きるチカラ」について考えよう！

～生野区教育アドバイザーとの対話による勉強会のご案内～

生野区では「生きるチカラまなびサポート事業」として、区内の小中学校やPTAに対し「性・生教育」「キャリア教育」の講座を提供しています。この事業の実施に当たっては、4名の教育の専門家にアドバイザーとしてご意見をいただきながら、進めて参りました。

その中で「新学習指導要領もスタートする中で、生野区の子どもたちをどんな大人にしたいかを校種を超えて考えるべきだ」というアドバイスをいただいたことから、このたび1月開催のアドバイザー会議を、教員のみなさまにも加わっていただき、オープンな学びの場として勉強会を開催することとしましたので、ご案内いたします。

あくまで自主参加のフラットな勉強会ですので、校種・役職・専門を超えて「生野の子たちに自信を持って生きていける力をつけてやりたいねん」「でも、これだけ世の中変わっていく中で『生きるチカラ』って何やるの？」「じゃあ、今の学校や授業の中でできることって？」という対話をしていく中で、明日からの仕事にも活かせるヒントが見つかるかと思います。

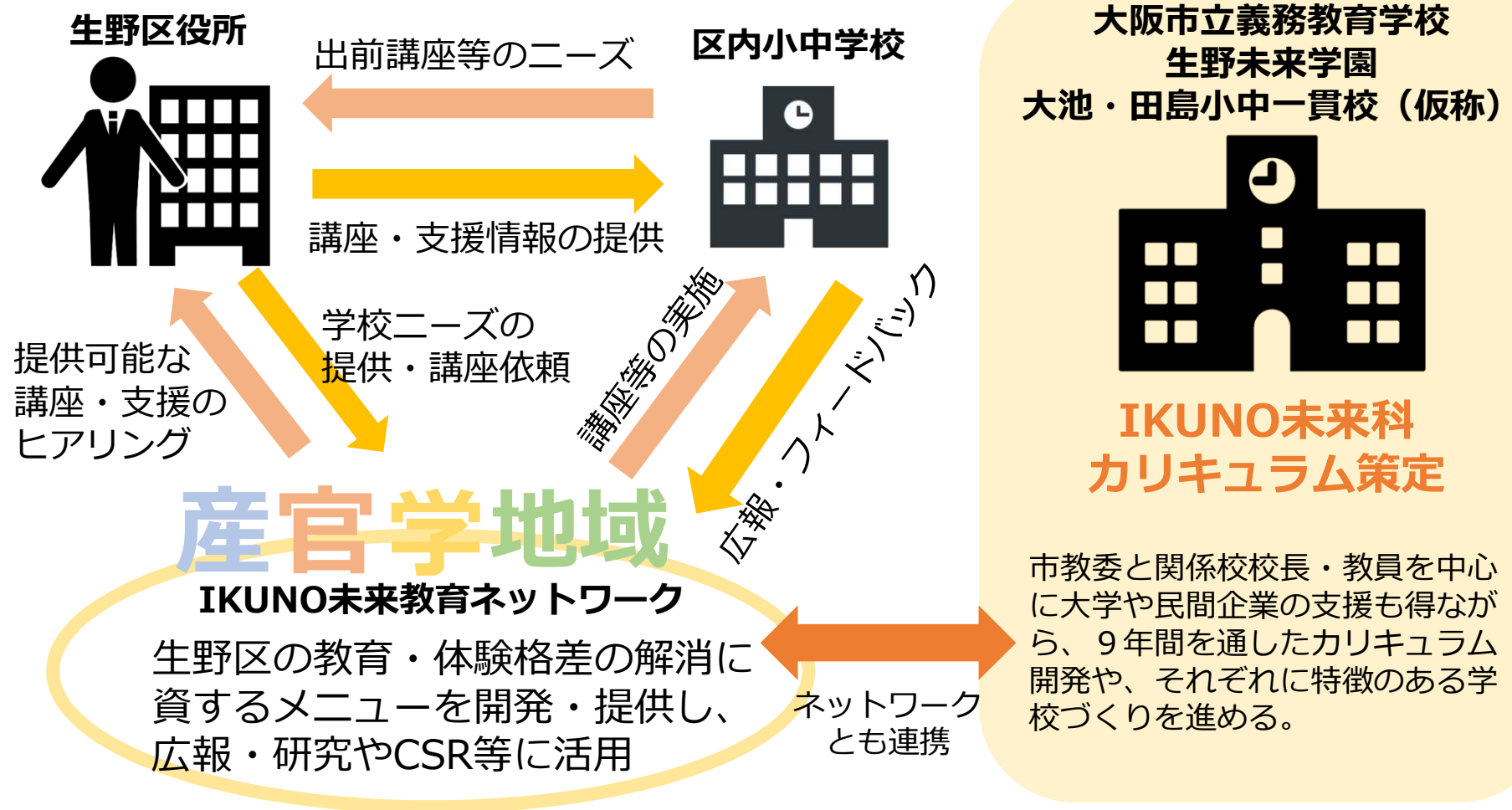


「未来の教育」について、民間企業・大学（有識者）・教職員・地域代表・中学生も交えて対話するフォーラムを令和2年度中に開催する



Step 1 – ③「IKUNO未来教育ネットワーク」の運用

生野区内の小中学校のニーズと、ネットワークに加わる企業・団体・学校・地域ができることをつなぎ、キャリア教育や体験活動の充実・学校支援を実現する。区役所には「**産官学連携コーディネーター**」を置き、プログラム開発や調整を行う。



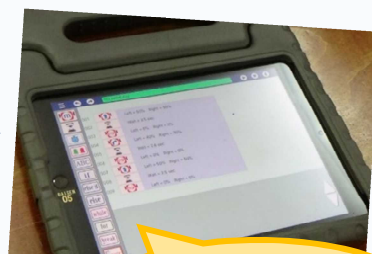
〔参考〕 企業によるキャリア教育の事例（令和2年8月実施）

生野区では平成30年度より「性・生教育」の機会を提供する「生野区生きるチカラまなびサポート事業」で、学校ニーズに応じて生野区内外の企業・団体や専門家による出前授業や研修を提供してきた。

プログラミング講座での授業風景



2人で協力して



プログラムを組んで



何度も
チャレンジ！

右に曲がると
いいね！



生きるチカラまなびサポート事業 （令和2年12月現在）

- ・登録企業・団体数 22講師
- ・登録講座数 35講座
- ・利用数 28件(うち小12中16)
- ・現場の声

「職業体験ができない中、ものづくり企業の講座を行い、生徒からも好評であった」

・企業・専門家の声

「オンライン化が進めば、学校と企業の新しい関わり方にも発展していくのでは」

今後「生きるチカラまなびサポート事業」を支える「IKUNO未来教育ネットワーク」を構築し、より幅広い企業・団体・学校・地域の参画を促進する

【参考】産官学＋地域による学校支援メニュー例

生野区の教育環境を充実するための、支援メニューとして想定しているもの

キャリア教育支援

- ・プロによる出前授業
- ・工場・会社見学受け入れ
- ・職業体験学習受け入れ
- ・適性調査・キャリア講座
- ・起業体験学習など

STEM教育支援

- ・1人1台PCの活用支援
- ・プログラミング教育の支援
- ・研究者による理科の実験
- ・問題解決型学習の課題提供
- ・専門性の高い学びの提供

校内研究支援

- ・「IKUNO未来科」や校内研究に対し、学校ニーズに応じてカリキュラムや授業づくりに参画
- ・プロジェクト型学習の提案

部活動支援

- ・スポーツに関わる企業による部活動支援
- ・副業可の企業による部活動支援員制度の周知
- ・区内児童生徒の発表の場の提供など

課外活動支援

- ・長期休みの学習支援
- ・eスポーツやプログラミング等の体験機会の提供
- ・親子で参加できるイベントの開催

学校サポート

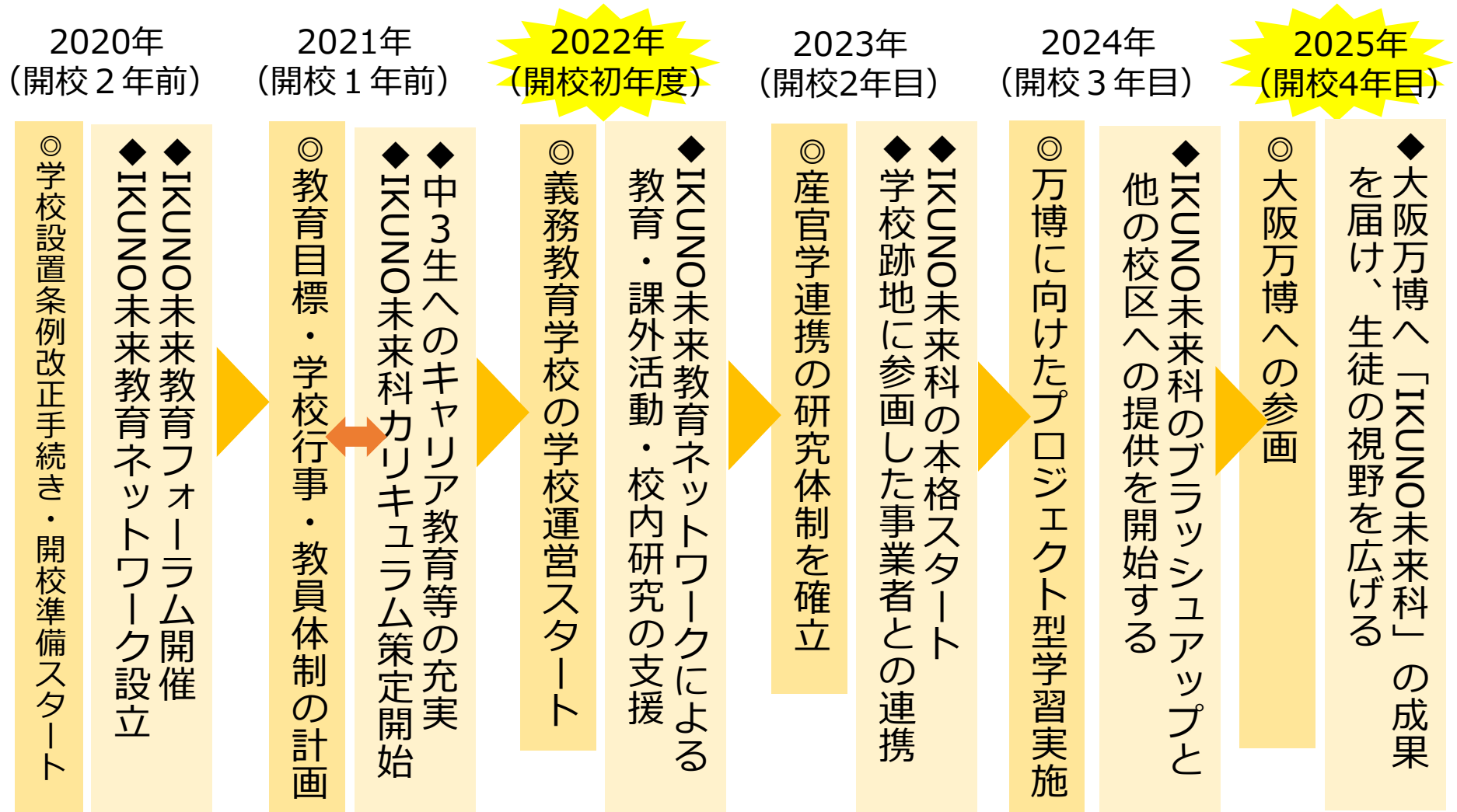
- ・ICT教育のサポートなど学校支援人材として参画
- ・教職員の働き方改革への助言・サポート
- ・通学路安全対策への支援



「できることを、できるだけ」それぞれの企業・団体の得意なことや余力でできることをご提案いただき、学校とメニューを共有します。

Step 2. 「IKUNO未来科」 コアカリキュラム策定

令和4年開校予定の「大阪市立義務教育学校 生野未来学園」及び「田島小中一貫校・大池小中一貫校（仮称）」における9年間を貫くコアカリキュラムを、市教委・学校現場と「IKUNO未来教育ネットワーク」が連携して策定する。



Step3. 「まちぐるみ教育・みんなの学校」の実現

区内小中学校と産官学・地域連携の連携である「IKUNO教育ネットワーク」が、令和3年度より「学校跡地を核としたまちづくり構想」の目標とする「**まちぐるみ教育・みんなの学校**」とも連動して生野区民の体験や生涯学習にも関与していく。

